

公式テキストが4年ぶりに改訂！ メンタルヘルス・マネジメント検定試験とは？

メンタルヘルス・マネジメント検定は、年々受験者数が伸びている大注目の資格です。中央経済社が公式テキスト・過去問を発行しており、テキストは今回4年ぶりの改訂となりました。この資格は「〇級」ではなく「〇種」という区分がされているのが特徴ですが、それぞれどう違うのでしょうか？

コース	I種 (マスターコース)	II種 (ラインケアコース)	III種 (セルフケアコース)
対象	人事労務管理スタッフ、 経営幹部	管理監督者（管理職）	一般社員
目的	社内のメンタルヘルス対策の推進	部門内、上司としての部下のメンタルヘルス対策の推進	組織における従業員自らのメンタルヘルス対策の推進
到達目標	自社の人事戦略・方針を踏まえたうえで、メンタルヘルスケア計画、産業保健スタッフや他の専門機関との連携、従業員への教育・研修等に関する企画・立案・実施ができる。	部下が不調に陥らないよう普段から配慮するとともに、部下に不調が見受けられた場合には安全配慮義務に則った対応を行うことができる。	自らのストレスの状況・状態を把握することにより、不調に早期に気づき、自らケアを行い、必要であれば助けを求めることができる。

(大阪商工会議所公式HPより)

- ・一番売れるのは **II種** です。特に部下を持つ管理職からの関心が高いです。
- ・2020年度の受験者数は46,050人で、毎年 **2~3,000人ほど増加** しています。
- ・企業が団体受験するケースも多く、明治安田生命保険やYKKAPなどは2019年度に1,000人以上の従業員が申し込みました。
- ・改訂版テキストの発売は7月上旬を予定しています。
- ・次回試験は11月7日です。（申込期間：9月21日～10月1日）